

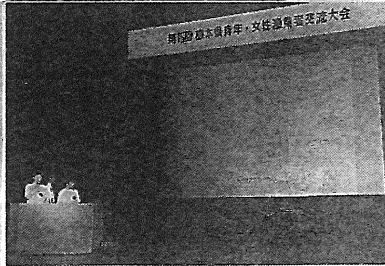
7/27 熊日

「県青年・女性漁業者交流大会」が26日、熊本市富合町のアスパル富合であり、漁業者と高校生が日ごろの活動を報告した。

県と県漁業協同組合連合会が漁業振興などにつなげようと毎年開いており、15回目。5漁協と芦北、蒼洋の2校が発表した。

天草町一本釣小組合の川端一裕組合長は「あまも(アマモ)のブランド化に向けた研究結果などを報告。「仲間との連携や知恵を出し努力する必要性を学んだ」と述べた。御所浦町漁協女性部の井坂りかさ

熊本市 高校生ら漁業振興の活動報告



稚魚の成育の場になるアマモを増やす取り組みを発表する芦北高校の生徒＝熊本市富合町

んは、魚介類ですり身を作り、全国に発送している離島での取り組みを紹介した。審査の結果、川端さんと井坂さんが来年3月に東京で開催予定の全国大会に出場する。(岡恭子)